

移ろう季節と生きていく。
梅雨の潤いも、愉しみながら。

日本には、四季があります。

その移ろいは、わたしたちに豊かな感情を
もたらしてくれました。

大地をしっかりと潤す梅雨の叙情も、そのひとつ。

雨に洗われた空気は澄みわたり、

木や草花はつややかな彩りを放ちます。

それは、人の心までも、

しっかりと潤してくれる美しさです。

しかし、住まいにとって、

梅雨はそれほど歓迎できる季節ではありません。

じめじめとした息苦しい空気が立ち込めると、

見えないところで住まいをむしばむ

カビやダニが発生しやすくなってしまいます。

では、住まいに何を求めるべきか。

答えは、おそらくひとつ。

それは、「湿気」と上手く付き合っていく、ということ。

多い時は吸い込み、少ない時には吐き出す。

息をするように、知らないうちに、

さりげなく湿気をやりとりする。

わたしたちトーシン不動産販売は、そんなふうにして

移ろうすべての季節とともに生きられる住まいこそ、

理想と考えています。

当たり前だろう、と言われるかもしれませんが、

でも、その当たり前は、この風土にしっかりと向き合って、

初めて目指せるものなのです。

「違う」に、こだわる。

N·ist

エヌ・イスト